

自らと大切な人の命を守りましょう！「3密」(密閉・密集・密接)を避けて、うがい、手洗いを忘れずに！

“ふるさとちば”のための政策推進を

茂呂つよし県議会レポート

発行 / 自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

**東葉
高速鉄道**

運輸収入が3.5%増加

2月議会予算委員会に登壇



予算委で質問する茂呂委員
の増加となり
ました。
上期は、昨
年10月からの
消費税率改定
前の駆け込み
需要も含まれ
ていますが、
引き続き、堅
調な成績と認
識していま
す。

八千代市選出で県議2期目ながら、県政を舞台に活発な議会活動を展開する茂呂剛(もろ・つよし)議員は、新年度予算案を審議する2月定例会県議会の予算委員会に登壇し、東葉高速鉄道の経営改善に向けた方策など、地域の課題を取り上げました。この中で、県執行部は東葉高速鉄道について、運輸収入が前年同期比3.5%増加し、堅調に推移していると答弁。長期債務に対し、20億円を繰上償還することを明らかにしました。酪農の夏場の暑さ対策など、地域の課題を訴えた茂呂議員の主な質疑を特集しました。

本年度上期の業績

茂呂委員 東葉高速鉄道は、多額の長期債務を抱え、その償還が経営を圧迫する状況が続いていることから、国、県、沿線市等で構成する自立支援委員会において、会社の自立に向けた協議を行っているところ
交通計画課長 令和元年度上期は、輸送人員が1日平均で16万5千8百人と、前年同期に比べ6千3百人、3.9%の増。運輸収入が83億5千万円と、前年時に比べ2億7千7百万

まず、現在の経営状況を

20億円を繰上償還

茂呂委員 業績が好調なことは良いことですが、この会社の最大の課題は、長期債務の抜本的な縮減です。今のうちに経営改善を行い、少しでも債務縮減を図っていくことが重要だと考えています。
東葉高速鉄道の経営改善に向けた取り組み状況はどうか。

交通計画課長 自立支援委員会において、長期収支推計の見直しを行った結果、運輸収入の増加等により、資金状況の改善が見込

まれることから、将来の利払い軽減のため、令和2年度に20億円の繰上償還を実施することについて、合意したところですが、引き続き、同委員会において、多額の長期債務を抱える会社の経営安定化に向けた取り組みを検討するとともに、金利動向により資金不足が見込まれる際の支援の在り方等についても協議してまいります。

交番は地域シンボル

茂呂委員 地域の安全安心のシンボルである交番は、将来を見据えた計画的な建替え整備が必要だと思います。そこで伺います。県下の老朽交番等の整備状況はどうか。
県警会計課長 1月末現在、県下には交番と駐在所を合わせて488カ所ありますが、このうち、建築後30年を経過した施設は、

八千代台駅前を整備

茂呂委員 八千代市内にも30年を経過した交番が4カ所あると思いますが、これらの整備についてどうか。
県警会計課長 八千代警察署管内には、交番と駐在所併せて10カ所ありますが、このうち建築後30年を

要望 経営改善の大前提として、今まで以上に収益増加に取り組んでいくことが重要です。以前から申し上げていますが、例えば、高架下の有効活用など、収益増加に寄与するだけでなく、賑わいが創出されることにより更に鉄道利用者の増加につながるといった好循環を生み出す取り組みについても進めていただきたいと思います。

市内交番も順次建替えへ

このうち4つの交番は、計画的な整備を進めることとしており、八千代台駅前交番については、本年度中に

●県政と八千代市に関するご意見・ご要望をお聞かせください。

茂呂つよし 県事務所
〒276-0046 八千代市大和田新田1092-7
TEL047-480-0244 FAX047-458-7033

要望 交番は、その地域の安全・安心のシンボルです。今後とも、地域の実情や地域住民の意見を踏まえ、安全・安心の拠点として、警察機能を十分発揮できる交番の建替え整備を進めていただくよう改めて要望します。
また、米本交番については、設計を完了させ、令和2年度中の建替え整備を予定しています。
令和2年度当初予算案に設計業務委託費を計上しており、令和3年度中の建替え整備を予定しています。
八千代台東交番及び勝田台交番については、令和10年以内の建替え整備を目指すことにしています。

酪農の夏場暑さ対策で要望



質疑者席に立つ茂呂委員

牛舎屋根へ新素材を塗装 モデル事業で効果が実証 牛舎内を涼しく

茂呂議員 本県酪農の主力品種はホルスタインであり、高温多湿に弱いことから、夏場の牛の飼育管理は重要な課題となつています。そこで伺います。本県酪農の夏場の生産性を向上させるための取り組み結果はどうか。

畜産課長 県では、夏場の生産性を向上させるため、遮熱効果のある新素材を牛舎屋根に塗装し、その効果を検証するモデル事業を、今年度7戸の農家で実施しました。

その結果、乳量の安定している春の時期と、暑さの影響を受ける夏の時期を比較すると、全農家平均の乳量が9.3%減少したのに対し、モデル事業に参加した7戸の平均乳量は、5.0%の減少にとどまり、事業の効果が認められたところです。

さらに、モデル事業に参加した農家からは、牛舎内が涼しく感じられたとか、牛がゆつくり休んでいるなどの感想をいただいています。

茂呂委員 夏場の暑さ対策について、今後の取り組み

みはどうか。
畜産課長 本年度のモデル事業により、牛舎屋根への新素材塗装による遮熱効果が認められたことから、新素材塗装に要する経費の一部を助成する事業を、令和2年度の当初予算案に計上したところです。

ることで、夏場の暑さ対策に集中的に取り組んでまいります。

今後、暑さ対策にしっかりと取り組んでいただき、積極的に酪農家へ普及していただくよう要望します。

要望 今後も猛暑による影響が懸念される中で、本県の酪農の振興のためにも、暑さ対策にしっかりと取り組んでいただき、積極的に酪農家へ普及していただくよう要望します。

東京オリ・パラ開催 ライブサイト会場で

茂呂委員 せっかく県内で、東京オリンピック・パラリンピックが開催されるのですから、会場に入ることのできない方でも、大会の雰囲気を感じられるようにしていくことが大事なことでと考えます。そこで伺います。県が実施する大会関連のイベントには、どのようなものがあるのか。

開催準備課長 大会関連のイベントは、まず、大会に向けては、県内の幅広い地域を通過する聖火リレーのイベントや各国の事前キャンプでの交流事業などを、大会期間中には、幕張海浜公園に設置するライブサイト会場でのイベントなどを実施します。

これらの他にも、「千葉・県民音楽祭」や「ちばアート祭」などの県民参加型の文化プログラムも実施します。

茂呂委員 大会時に設置するライブサイトの狙いは何か。

開催準備課長 ライブサイトとは、観戦チケットを持たない方でも、競技会場の外で大画面による競技中継や競技体験を楽しむことができるイベントです。

県では、組織委員会との共催により、より多くの県民の方々に大会の感動と興奮を共有していただけるよう、オリンピック期間中に2日間、パラリンピック期間中に2日間、それぞれ設置することとしています。

待機児童解消を要望

茂呂委員 待機児童対策について伺います。保育所等の待機児童解消のため、令和2年度にどのくらいの施設整備を見込んでいるのか。

子育て支援課長 保育所及び小規模保育事業所等の整備について、国の交付金に県独自の乗せを行うなどにより、令和2年度は、133施設、約5千7百人分の整備を見込み、県の予算案には34億7千3百万円を計上しているところです。

新型コロナウイルス感染症について

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い国は4月7日、千葉県など7都府県に「緊急事態宣言」を発令し、その後、16日には対象を全都道府県に拡大しました。

5月6日までの間、昼夜を問わずの外出自粛となり、私たちの暮らしが大幅に制限されています。

今感染拡大を抑え込まなければ、国民生活、企業活動が一層厳しさを増すのは間違いありません。うつらない・うつさない行動が大切です。皆さん力を合わせて、新型コロナウイルス感染症による困難に打ち勝ちましょう。

さらに増える見込みであり、当初予算案に1万5千7百人分、17億9千8百万円を計上しています。

待機児童解消のため、今後とも施設整備や保育士の処遇改善に引き続きしっかりと取り組んでいただきたい。

要望 待機児童解消のため、今後とも施設整備や保育士の処遇改善に引き続きしっかりと取り組んでいただきたい。

また、有資格者が不足する中、保育補助に携わる子育て支援員の確保も重要です。子育て支援員の養成のための研修にも引き続き取り組んでいただくよう要望します。

ICT教育

茂呂議員 ICTを活用した個別・最適な学びとは、どのようなものか。

学習指導課長 例えば、数学方程式の授業で、全員で例題を解いた後に、個々の生徒がタブレット端末で自分の理解度に合った問題に取り組んでいくという学習です。つまり、自分自身のペースで進んでいる生徒が、自分でどんな復習をしたらよいか、タブレットが分析することで、自分に合った学習が可能になると考えます。

茂呂委員 個別・最適な学びの検証にどのように取り組むのか。

学習指導課長 令和2年度から県立高校8校程度に、タブレット型端末を導入し、国語、数学、英語をオンラインコンテンツで学習する計画を立てています。

カミツキガメ根絶へ

茂呂委員 カミツキガメの根絶に向け、来年度はどのように取り組んでいくのか。

環境生活部長 来年度は、捕獲の範囲をこれまで多数の生息が確認された水田周辺の水路のほか、新たに生息が確認された河川の上流などにも拡げる予定であり、生息域の拡大を抑え

ながら、捕獲に取り組んでまいります。

また、これまでの捕獲実績等のデータを基に、現在改めて生息数の推定を行っており、来年度はその結果も踏まえ、防除実施計画を見直すこととしています。

要望 引き続き、来年度も根絶に向けた取り組みを進めていただくよう要望します。

また、これまでの捕獲実績等のデータを基に、現在改めて生息数の推定を行っており、来年度はその結果も踏まえ、防除実施計画を見直すこととしています。

要望 引き続き、来年度も根絶に向けた取り組みを進めていただくよう要望します。

また、これまでの捕獲実績等のデータを基に、現在改めて生息数の推定を行っており、来年度はその結果も踏まえ、防除実施計画を見直すこととしています。

要望 引き続き、来年度も根絶に向けた取り組みを進めていただくよう要望します。